平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名　三浦印刷株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7920　　URL　http://www.miura.com/
代表者　　(役職名) 代表取締役社長　　(氏名) 三浦　剛治
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部担当　　(氏名) 須川　直輔　　TEL 03-3632-1111
四半期報告書提出予定日　　平成25年2月12日
配当支払開始予定日　　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,112	△8.1	106	—	231	—	△131	—
24年3月期第3四半期	10,999	△11.2	△131	—	△126	—	△385	—

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△72百万円　(—%)　24年3月期第3四半期　△805百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△5.57	—
24年3月期第3四半期	△16.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,690	4,540	35.8
24年3月期	13,945	4,613	33.1

(参考) 自己資本　　25年3月期第3四半期　4,540百万円　　24年3月期　4,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600	△5.9	200	—	300	—	△90	—	△3.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　有
※業績予想の修正については、本日(平成25年1月31日)公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	24,745,848 株	24年3月期	24,745,848 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,130,719 株	24年3月期	1,130,322 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	23,615,290 株	24年3月期3Q	23,615,371 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要を背景に緩やかな回復基調にあるものの、欧米財政問題の長期化や新興国の成長鈍化などの影響により、依然として先行き不透明な状況にあります。

印刷事業におきましては、企業の広告宣伝費抑制を受け印刷物需要が低迷し、また受注競争激化による単価下落が影響し、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、３ヵ年の中期経営計画「チェンジ&チャレンジ」の最終年度にあたる本年は、印刷事業の黒字転換に向け、大幅な組織人事改革による新体制のもと、新規得意先開拓の強化による売上拡大を進めてまいりました。また、内製化の促進や人件費をはじめとする諸経費の削減に努めてまいりました。さらに、コンサルタントを導入し、事業構造の変革を実現すべく、新規売上拡大、収益強化に向けた次期中期経営計画の策定に取り組んでまいりました。

印刷事業におきましては、営業面では、新規開拓部門の人員を補強し、売上の拡大に注力するとともに、印刷の付帯サービスであるアセンブリを強みとした受注活動を推進してまいりました。また、得意先訪問頻度の向上により、収益性の高い中・小口案件の受注獲得に取り組んでまいりました。さらに、「ＡＲmailサービス」（ＡＲ技術を応用した当社オリジナルのサービス）の廉価版リリースにより、紙媒体との相乗効果による販路拡大を進めてまいりました。

製造面では、社内リソースを有効活用したＤＴＰ業務の内製化によりコストダウンを進めるとともに、短納期・高付加価値のソリューション提供のため、次世代型デジタル印刷機を中心とした、デジタル印刷とオフセット印刷のハイブリッドワークフローを構築してまいりました。また、ロジスティクス機能強化の一環として、船橋工場内のアセンブリ作業スペースを拡大し、アセンブリ作業の内製化を推進してまいりました。さらに、市場競争力をもう一段高めるため、材料調達から物流にいたる業務プロセスの最適化や、採算管理体制の強化を進めてまいりました。

駐車場事業におきましては、優良事業地の開拓を進めるとともに、既存事業地は積極的なリニューアルにより稼働率の向上を目指してまいりました。また、遠隔通信管理システムを有効活用し、きめ細かな料金設定を行うとともに不採算事業地からの撤退を進め、収益力強化を図ってまいりました。

以上のような施策に取り組んだ結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は101億１千２百万円（前年同期比8.1％減）、営業利益１億６百万円（前年同期は営業損失１億３千１百万円）、経常利益は２億３千１百万円（前年同期は経常損失１億２千６百万円）となりました。また有価証券売却に伴う投資有価証券売却損１億９千６百万円、株式市場の低迷に伴う投資有価証券評価損１億７千１百万円及び一部印刷設備における減損損失４千万円を特別損失に計上したことなどにより、四半期純損失は１億３千１百万円（前年同期は四半期純損失３億８千５百万円）となりました。

なお、当社グループの印刷事業につきましては、印刷物需要の低迷と受注単価の更なる下落により、売上高が減少し、売上高88億２千５百万円（前年同期比8.0％減）、営業利益５百万円（前年同期は営業損失２億８百万円）となりました。

連結子会社㈱ミウラクリエイトが運営しております駐車場事業につきましては、不採算事業地からの撤退や優良事業地の開拓などによる収益力強化により、売上高12億２千８百万円（前年同期比8.6％減）、営業利益７千６百万円（前年同期比26.7％増）となりました。

また、不動産賃貸事業につきましては、売上高６千３百万円（前年同期比7.4％減）、営業利益１千８百万円（前年同期比80.0％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ12億５千５百万円の減少となり、126億９千万円となりました。これは主に投資有価証券の減少等によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度に比べ11億８千３百万円の減少となり、81億４千９百万円となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金の減少等によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度に比べ７千３百万円の減少となり、45億４千万円となりました。これは主に利益剰余金の減少等によるものであります。この結果、自己資本比率は35.8%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の通期の業績予想につきましては、最近の業績の動向や経営環境等を踏まえて見直しを行った結果、平成24年10月26日に公表した業績予想を修正しております。

詳細は本日（平成25年１月31日）別途開示いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、当該変更による当第３四半期連結累計期間の影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,040	2,233
受取手形及び売掛金	2,924	2,702
有価証券	100	499
製品	54	66
仕掛品	186	225
原材料及び貯蔵品	55	53
その他	291	192
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	5,643	5,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,971	1,850
その他	1,767	1,517
有形固定資産合計	3,738	3,368
無形固定資産	66	76
投資その他の資産		
投資有価証券	3,641	2,447
その他	899	875
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	4,496	3,278
固定資産合計	8,301	6,723
資産合計	13,945	12,690
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,807	1,783
短期借入金	2,351	1,868
1年内償還予定の社債	75	75
未払法人税等	15	18
賞与引当金	115	8
その他	638	319
流動負債合計	5,002	4,073
固定負債		
社債	1,395	1,357
長期借入金	2,228	2,081
繰延税金負債	141	131
役員退職慰労引当金	461	414
その他	103	91
固定負債合計	4,330	4,076
負債合計	9,332	8,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,215	2,215
資本剰余金	2,230	2,229
利益剰余金	1,108	976
自己株式	△393	△393
株主資本合計	5,160	5,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△547	△488
その他の包括利益累計額合計	△547	△488
純資産合計	4,613	4,540
負債純資産合計	13,945	12,690

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	10,999	10,112
売上原価	9,117	8,382
売上総利益	1,882	1,729
販売費及び一般管理費	2,014	1,623
営業利益又は営業損失（△）	△131	106
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	75	78
賞与引当金戻入額	－	101
貸倒引当金戻入額	－	1
物品売却益	38	28
その他	30	16
営業外収益合計	148	228
営業外費用		
支払利息	131	96
その他	11	6
営業外費用合計	143	103
経常利益又は経常損失（△）	△126	231
特別利益		
有形固定資産売却益	5	53
投資有価証券売却益	26	16
会員権売却益	3	－
固定資産売却益	－	2
特別利益合計	35	72
特別損失		
減損損失	－	40
固定資産除売却損	26	21
投資有価証券売却損	13	196
投資有価証券評価損	279	171
会員権評価損	0	－
貸倒引当金繰入額	0	－
賃貸借契約解約損	0	－
特別損失合計	320	430
税金等調整前四半期純損失（△）	△411	△126
法人税、住民税及び事業税	5	15
法人税等調整額	△32	△10
法人税等合計	△26	4
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△385	△131
少数株主利益	－	－
四半期純損失（△）	△385	△131

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△385	△131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△420	58
その他の包括利益合計	△420	58
四半期包括利益	△805	△72
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△805	△72

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。